



うつのみや歴史つながる未来通信



新しい年が明けました。本年の十干十二支・干支は癸卯(みずのとう)です。十二支はよく聞きますが、十干はあまり知られていないかもしれません。甲乙丙丁戊己庚辛壬癸の十干と子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥の十二支を組み合わせると 60 通りの干支があり、60 年で一巡りして還ってきます。これは古代中国で暦や時間を表すために始まったそうです。

癸は水の陰のエネルギーで雨や露、霧などの静かで温かい大地を潤す恵みの水を表し、新たな生命が成長し始めている状態を意味するといわれます。また卯は穏やかなウサギのように安全、温和であることと跳ね上がる意味から、卯年は何かを始めるのに縁起が良く希望があふれ、景気回復、好転する良い年になるそうです。

癸卯年は今まさに私たちが心から待ち望んでいる年の到来ではないでしょうか。

世界中が愛に満ちあふれ、そして一日も早く平和が訪れることを祈ります。

「核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書提出を求める陳情」 採択へ向けて討論

(令和 4 年 12 月議会)

世界で核に対する脅威が高まっている。いうまでもなくロシアによるウクライナ侵略によるものだ。日本は原子力爆弾の凄惨さを知る国としてそれを後世に伝える努力をしてきたが、世界は軍拡を進め今や世界中には 15000 個以上の核兵器が存在している。約 160 年前日本は、本市も町が破壊された戊辰戦争という内乱を経て近代国家としての歩みを始めたが、それ以来富国強兵を掲げて日清日露戦争から第 2 次世界大戦まで半世紀にわたって他国と戦争を繰り返して原子力爆弾による壮絶な苦しみを経験した。長い犠牲を払い戦争の愚かさを学んだ日本は、平和憲法によって武器を持たない、戦争はしないと誓ったにも拘わらず、今や軍事費を 43 兆円にまで高め敵基地攻撃も視野に入れた軍拡をすすめている。そして唯一の戦争被爆国でありながら核兵器禁止条約にも参加、批准していない。ひとたび戦争になれば一般市民も巻き込まれる。私たちは絶対に子供たちを戦争に行かせたくない。戦争ではなく外交努力と話し合いによって解決の道を探り平和な世界を構築する。日本だからこそその役割を担うことができるしその第一歩が核兵器禁止条約に批准することだと考える。

日本と同じく平和憲法を持つコスタリカは近隣国同士の危機的状況の時に大統領が積極的に介入して争いを終らせ、その功績によってノーベル平和賞を受賞したという。コスタリカは平和憲法によって軍隊を廃止したので武器を持たず仲介したからこそ交渉は成立したのではないか。私たちは、子供たちの未来と地球を守る義務がある。子供たちに対して模範ともならなければならない。核兵器のない世界と平和を子供たちへ残していくために、勇気をもって核兵器の廃絶に向けた行動を国にうながし、日本が話し合いで解決する外交の第一歩を踏み出せるよう、核兵器禁止条約への参加・署名・批准を求める意見書の提出を求める陳情に賛同する。

宇都宮市が「二酸化炭素排出ゼロ」(実質)を宣言しました！

宇都宮市に対して地球温暖化対策への積極的な取組を強く求めてきましたが、市はついに「二酸化炭素排出実質ゼロ」を宣言しました。(令和 3 年 10 月)そして昨年 9 月、宇都宮市は

「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」を策定し、2050 年の 排出ゼロへ向けて、2030 年の目標値を50%削減と決めました。

世界の流れからすると遅れた感は否めませんが、これはとても評価できることです。

市は、これまで国の 2030 年までの削減目標値 2013 年比26%をわずかに上回る27%を掲げていましたが、令和3年4月、国がそれまでの26%削減から46%と目標値を大きく高めたことに続き、栃木県も令和 4 年 3 月に50%削減という高い値を示し、それに市も合わせました。

従来の「できることを積み上げていく」という消極的な姿勢には限界があり、地球の未来を考えるならバックカスティングすることが最良の方法です。数値目標は高くなりますが、今後はこの目標値に向けて全力で取り組むのみです。

とても高い山に思えますが、地球上の命と子供たちの未来をまもるために頑張りましょう！

「宇都宮市カーボンニュートラルロードマップ」から

「市民の取組」では今から2030年までに70万トンのCO₂を減らす目標(2013年度比60%減)が掲げられています。一世帯当たりになると約3トン(3000kg)の削減量です。
マップに記載されている削減への取組例をご紹介します。これで約2100kgの削減ができます。

再エネ電気への切替

⇒ 1,232kg/人

※現在の1世帯の電力消費量等から算出
再生エネルギーとは、CO₂を排出せず、かつ
繰り返し利用できるため資源が無くならないエ
ネルギーです。

各社メニューにより料金は切り替え前と同等程
度のものもあります。積極的に再エネ電気へ切
り替えてエコな暮らしをしましょう。

ごみの分別処理

※家庭から出る容器包装プラスチックを全て分別
してリサイクルした場合

⇒ 4kg/人

「3R」(リデュース(ごみの発生抑制)、リユース
(再使用)、リサイクル(再生利用))は、CO₂排出
量減につながります。まずは減らす工夫をし
てみましょう。分別方法に迷ったら、本市のご
み分別アプリ「さんあ〜る」を活用してみてく
ださい。

食事を食べ残さない

⇒ 54kg/人

※家庭と外食の食品ロスがゼロになった場合
日本の食品ロス量は、1人1日あたり、おにぎり
約1個分。食材の買い物や保存等でも工夫を
して、家庭と外食の食品ロスがゼロになれば、
CO₂の削減にもつながります。

植林などの保全活動

※木を1本植えた場合

⇒ 0.8kg/本

地球温暖化の現状は他人事ではなく、一人ひと
りの行動の上に成り立っています。地域の環境 活動
などに参加してみましょう。自宅の庭木やグリーン
カーテンなどの植物も、温室効果ガスを吸収しな
がら、おうち時間を快適にしてくれます。

スマートムーブ

※自動車移動がバス・電車・自転車などに置き換えられた場合

⇒ 都市内プライベート 410kg/人(通勤・通学以外) 通勤時 243kg/人(通勤・通学)

自動車のCO₂排出量は、家庭からのCO₂排出量の約1/4を占めます。自動車保有率が全国と比べて高い宇都宮ではさらに比率が高くなります。徒歩、自転車や公共交通機関など自動車以外の移動手段の選択(スマートムーブ)や、エコドライブの実施、カーシェアリングを積極的に利用していきましょう。本市では、LRTの整備と合わせて、バス路線の再編や交通系ICカード、バスの上限運賃制度の導入など、子どもからお年寄りまで、誰もが利用しやすい公共交通利用環境づくりに取り組んでいます。

衣類を長く大切に着る

※衣類の購入量を1/4程度にした場合

⇒ 194kg/人

日本の衣類廃棄量は年間約“100万トン”。“1人あたり”なんと約26枚。洗濯表示を確認する、適切にケアする、先のことを考えて買うなど、気に入った1枚を長く大切にすることもサステナブルなファッションとの付き合い方です。また、最近は様々なブランドが環境に配慮した素材や方法で洋服を作成しています。購入時にリサイクル・リユースなど環境に配慮した素材や製造過程なども確認してみましょう。

食べ物の地産地消

⇒ 8kg/人

現在、日本ではカロリーベースで約60%を輸入食品で賄っており、その分フードマイレージ(輸送量×輸送距離:輸送に掛かるCO₂排出量も増える)が大きくなっています。お買い物の際は国産のもの、地元産のものを意識して選択してみましょう。本市では、学校給食の地産地消を推進しています。

令和5年度の宇都宮市施策と予算に関する要望書を市長に提出（抜粋）

令和4年12月28日

【1】 平和に関する施策

世界で唯一の原子爆弾戦争被爆国である日本が「核兵器禁止条約」に一刻も早く参加・調印・批准するよう、
国に対して意見書を提出すること

【2】地球温暖化対策を強化し「気候非常事態宣言」を行うこと

2. 市民意識の醸成に資するセミナーや勉強会など様々な働きかけをまんべんなく行うとともに、市民や事業者のモチベーションを維持するため、達成度合の適宜公表や効果的なあらゆる施策を実施し、宇都宮市カーボンニュートラルロードマップに掲げられた目標を必ず達成すること

【3】 有機農業の促進と農家の支援、地産地消を推進する施策

4. 地球温暖化対策にも有効な有機農業を推進するため、既存農家や新規参入者の有機農業への取組を支援し、市内の有機農業割合を大幅に高めること

【4】 交通に関する施策

3. 最もグリーンなモビリティである自転車の利用を促進するための施策や市民啓発を強化すること。また自転車道の整備を進めること(国道・県道も対策を検討すること)。市内の全自転車駐輪場へ自動空気入れを設置すること

【5】 福祉・教育・環境に関する施策

1. 宇都宮市屋板運動場に野外トイレを増設すること
3. 学校給食費を無償にし、給食の食材は無農薬・有機農産物にすること
4. 給付型奨学金を拡充すること

など

◆◆ 令和4年定例会質問・討論 ◆◆

★市民からの陳情が議会で審議されない「議長預かり」になることについての陳情の討論

市議会への請願・陳情は、市民の要望が直接的に議会に伝えられるという、市政への住民意思の反映という意味で最も重要なお意見であり、宇都宮市自治基本条例にも「市民は市政に参画する権利を有する」と明記されている。そのような貴重なご意見が、市議会の申し合わせでは「同一趣旨」の場合は議会に上程せず議長預かりにするとされている。問題なのは「同一趣旨」の捉え方で、その判断基準は曖昧であり、社会情勢も日々変化している中議員個人や会派の主観的な判断に委ねられていることだ。そもそも何度も陳情を出されるということは市民の皆様の問題が解決されていないということである。陳情を解決してこそ市議会。それを議長預かりにしまつては解決の糸口さえ見つからない。令和４年３月議会では１３件の陳情が受理されたが、内９件もが「議長預かり」で上程されていない。陳情は基本的な議長預かり基準に当てはまるものを除いて全て上程の上審議すべきと考える。

★(仮称)大谷スマートインターチェンジ計画は見直しを

(仮称)大谷スマートインターチェンジ計画は、一般的に設置されるようにパーキングエリア内にスマートインターチェンジ(ETC 専用の簡易なインターチェンジ)を取り付けるのではなく、高速道路から住宅の庭先に 6 m以上もの高い道路を建設(しかも東西方向)して作られる。この計画には地域住民の方々を中心に反対運動が起きている。経済効果や観光客の利便性が市民の人権に優ることはない。市長の見解を質した。

★燃えるゴミの更なる削減に寄与する指定ゴミ袋の導入を提言

宇都宮市の焼却ごみのうち約 3 割が食物などの生ごみで、その約 4 分の 1 がまだ食べられる食品ロスである。ごみを焼却する際には CO2 など温室効果ガスも大量に発生する。国内の自治体の約 6 割が指定ゴミ袋を使用したゴミの回収を行い効果を上げていることから、宇都宮市でも指定ゴミ袋を導入することが焼却ごみの削減に資すると提言した。

★「LRT事業」路線バスとの詳細な比較を求める

「100 年先」(市長述)!!の予測不可能時代に対応できるのはどちらか!!

LRT 事業の西側延伸計画は、昨年8月に「県教育センターまで」と明らかにされ、同時に今年の 8 月開業と発表されました。そして試運転を開始した矢先、「脱線」事故を起こし、この事業の「計画の不安定さ」を改めて感じました。LRT を東西基幹公共交通の基軸と言いながらこれまで全体計画を示さずに東側工事のみ進めてきたことは、私たちがその適正性や事業そのものの是非などを判断することができないということです。宇都宮市の公共交通の基軸として、今まで通りの路線バスの活用を望んでいる市民は少なくありません。にもかかわらず、そのバスとも利便性や採算性、市民の期待値など、LRT が優っているという詳細かつ客観的な比較がされていないことが明らかになりました。今後、西側への延伸に向けてはバスとの詳細な比較と優位性の実証は必須であり、提示すべきと主張しました。



「姿川の石碑・野仏～石造物が伝える祈りと心～」がまとまりました

(令和 4 年 3 月)

姿川地域の市民団体「姿川地区歴史と文化の会」はこの度、会の設立十周年記念事業として、姿川地域の石碑や野仏などの碑塔類を会員 20 数名が約 5 年間かけて調査した詳細な記録を 1 冊の本にまとめました。各地区の戦没記念碑や顕彰碑なども含め 496 基に上ります。

それら石造物にはいつの時代も人々が平和を切に願ってきたことが刻まれており、時を超えてその祈りを伝えています。私たちはこの記録が宇都宮市の歴史と文化の継承保存と平和のために役立ち、そして全市内の碑塔類調査のきっかけになることを心から期待しています。

(市内各図書館で閲覧と貸し出しをしています)

提出した主な決議書・要望書

- ◆ ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議書
- ◆ 「生理の貧困」に対する緊急要望
- ◆ 新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書
- ◆ 本会議における不規則発言に対する抗議と改善の要求

市議会女性議員有志による
生理の貧困に対する要望書を
市長に手渡す



人を大切にするやさしいまちに

令和 2 年 9 月、請願書の紹介議員となったことに関連して、公の会議において陳謝文を読み上げる懲罰を科されました。しかしこの陳謝文には謝罪する必要のないことも書かれてあったことから、事実誤認について審議結果の見直しを申し入れましたが聞き入れられませんでした。市民の意見や要望を議論する場においてこのようなことが二度と繰り返されないため、司法の判断に委ねることにしました。子どもたちのいじめ問題が後を絶たない今日、大人のいじめがなくなる限り子供たちのいじめもなくなりません。宇都宮市からいじめや人権侵害を根絶し、宇都宮市が本当にやさしいまちになるよう力を尽くします。

宇都宮の未来を創る市民の会

いでい昌子と宇都宮の未来を創る会(後援会)

〒320-0851 宇都宮市鶴田町 1427-4

TEL 080-5644-6683

宇都宮市議会 緑の地球

〒320-0854 宇都宮市旭1-1-5

TEL:028-632-2629

FAX:028-632-7001

内部討議資料

◇ご意見ご要望をお寄せください。